

令和 5 年 1 月 11 日

## 地域実践学習「むらの大学」現地報告会の開催

地域でのフィールドワークをくり返し行い、その課題について実践的に学ぶ授業「むらの大学」の現地報告会を、南相馬市では1月21日（土）、大熊町では1月28日（土）、川内村では1月29日（日）にそれぞれ実施いたします。

「むらの大学」を受講している本学1・2年生が、地域で発見した魅力や課題、そしてその発信や解決のため行った調査や活動について、住民の皆様の前で発表いたします。

地域実践学習「むらの大学」は平成26年度に新規開講した科目で、見聞だけの体験学習にとどまらず、地域に対する知識を習得しながら、企画や実践を通じて地域への理解を深め、課題やその解決の糸口を探していく授業です。

ぜひとも当日に取材していただきますようお願い申し上げます。不明な点がございましたら、下記お問い合わせまでご連絡ください。

### <南相馬市 現地報告会>

- 日 時：令和5年1月21日（土）13：30 - 16：00（予定）
- 会 場：小高交流センター多目的室（南相馬市小高区本町2丁目28番地）
- 報告者：「むらの大学」受講者（南相馬班）1・2年生 約30名

### <大熊町 現地報告会>

- 日 時：令和5年1月28日（土）13：30 - 16：00（予定）
- 会 場：大熊インキュベーションセンター（大熊町下野上清水230）
- 報告者：「むらの大学」受講者（大熊班）1・2年生 約30名

### <川内村 現地報告会>

- 日 時：令和5年1月29日（日）13：30 - 16：00（予定）
- 会 場：川内村コミュニティセンター（川内村上川内小山平15）
- 報告者：「むらの大学」受講者（川内班）1・2年生 約30名

（お問い合わせ先）

復興知事業事務局 / ふくしま未来学事務局

電 話：024-503-2014（担当：鈴木）

メール：[miraigaku@adb.fukushima-u.ac.jp](mailto:miraigaku@adb.fukushima-u.ac.jp)

当日の連絡先：080-4471-5243（業務用携帯）

# 地域実践学習「むらの大学」 現地報告会について

---

2023年1月11日 第169回定例記者会見  
復興知事業事務室 特任専門員 鈴木

# 1.「むらの大学」とは

- 2014年度に新規開講した、全5学類の1年生を対象とする科目
- 繰り返し地域を訪れ、住民の方々との交流・調査(フィールドワーク)と課題解決に向けた活動(サービス・ラーニング)から学ぶ



# 1.「むらの大学」とは

- 活動地域は**川内村**と**南相馬市**、**大熊町**の3市町村
- 一昨年度より、感染症対策のため**オンラインも併用**して学修を進めている
- 本年度の受講者数は**69名**（下表：地域ごとの内訳とテーマ）

活動地域	川内村	南相馬市	大熊町
受講者数	23名	23名	23名
テーマ	農作物PR	半農半エネ	産業
	農業6次化	特産品	土産品
	若者まちづくり	女性支援	広報
	歴史文化	文化	歴史文化
	移住定住	コミュニティ	移住定住
	観光	防災	地域愛着

表. 地域ごとの内訳とテーマ

## 2. 今年度の活動

- 全体での現地訪問の他、探究するテーマごとに班を編成して「問い」を設定し、さらに班ごとにフィールドワークを実施して学びを深めてきた



図. 川内村でのフィールドワークの様子  
(左上:遠藤村長による講話、左下:農家訪問、  
右上:かわうちワイナリーでの作業)

## 2. 今年度の活動



図. 南相馬市でのフィールドワークの様子

図. 大熊町でのフィールドワークの様子



